

秋の遠足



今回は11月9日に行われた、秋の遠足の様子をお届けします。
お天気に恵まれ、秋晴れの日となりました。

秋の遠足は、毎年、年少組～年長組まで、幼稚園から服部緑地公園まで徒歩でお出かけすることが恒例です。
大人の足で、30分かかる長い道のりをみんなで歩きます。

出発前には、各保育室で担任の先生から交通ルールのお話がありました。

坂道や歩道橋を通って行くこと、道路には車やバイクが通ること。

他の方の迷惑にならないように、声のボリュームにも気を付けることなど、子ども達も真剣にお話を聞いていました。



年長組は年中組とペアになって、手をつなぎ、お兄さん・お姉さんとして、年中組をしっかり守る意識を持って歩いていきます。

車道側を歩くのも年長組の子ども達。優しく声をかけてひっぱって行ってあげます。

今回、年少組に同行しましたので、年少組の様子を中心に伝えたいと思います。

坂道になると、どうしても歩くスピードがゆっくりになってしまい、列が乱れることも。

歩道橋や階段では、2列から1列になって手摺を使います。

列の間隔をあげないように先生や付き添いの保護者の方々もたくさん声をかけて下さいます。

歩いている途中、疲れが出てきて、「お腹すいた。」「遠いなあ。」「まだつかない?」と聞いてくる子もいれば、置いて行かれないように必死で、無言になってしまう子もいたり様々でした。

それでも、イチョウやザクロを見つけた時にはみんなで笑顔になったり、電車が通るかなと楽しみにしたりと、元気に歩く姿が見られました。

公園が見えてくると、「この公園、家族で来たことがある!見て!噴水があるよ!」と教えてくれました。

幼稚園を出発して1時間。無事に緑地公園に到着しました。ちなみに年中・年長組は50分で到着だったそうです。
ひとりでは遠く感じる道のりも、みんなと歩けば、あっという間でした。



年少組・年中組は早速、楽しみにしていたお弁当の時間です。クラスごとに集まってレジャーシートを広げます。年長組はこどもの楽園で遊具を使ってたくさん体を動かしてからお弁当を食べました。

みんな、お母さんが作ってくれたお弁当を見て、「先生見てー！かわいいでしょ。好きなコロケ入れてきたよ！おにぎりいっぱい嬉しい！」と満面の笑みで食べていました。

お弁当の後は、おやつ時間！！あちこちでお菓子交換が始まります。友達とたくさんおやつの交換をして、お腹いっぱいになるまで食べました。



お腹がいっぱいになると、みんなで探検をします。

森の中で、どんぐりやまつぼっくりをたくさん集めます。

虫を捕まえる男の子達もいれば、急な斜面を滑り台のように滑ったり、頑張って登ってみたり。

帰りには、持ってきた袋いっぱい木の実を集めて、おうちへのおみやげにする子どもがたくさんでした。

子どもしか入れない小さなトンネルを見つけると、どこに繋がっているんだろう？と大行列。

花壇にはきれいなコスモスも咲いていて、「きれいだね。かわいいね。僕より背が高いね。」と楽しそうでした。



最後に

重たいリュックを背負って長い道のりを歩いた子ども達。

特に、年少組の保護者の方は、歩けるかな？ととても心配だったと思います。

友達や先生方のパワーで、長い道のりを歩けたという達成感もあり、子ども達はキラキラ輝いていました。

元気いっぱい遊び、疲れたかなと思いきや、解散後も公園内で遊ぶ姿がたくさん見られました。

そして、先生方は子ども達が安全に歩けるように、横断歩道を渡るときや、駅周辺の人通りの多い道でも、何度も確認し、子ども達に声をかけ、常に気を付けてくださいました。

歩くペースが遅くなったときは、「前を見てね。」と、列が途切れないように気を付けてくださいました。

元気いっぱいの子と全力で遊んでくれた先生方、付き添いのお母さん・お父さん本当に有難うございました。

年長組は、みんなと遊んで、楽しい思い出がいっぱいできたと思います。

年中・年少組は、また来年も秋の遠足が楽しみになったでしょう。

